

インフォシス、日本における事業を拡大

名古屋に国内 2 番目の営業拠点を開設、中部地方の製造企業に対する連携を強化

2012 年 6 月 25 日(名古屋)： 本日、コンサルティングとテクノロジーの世界的トップ企業であるインフォシスリミテッド（本社インドバンガロール、NASDAQ:INFY）は名古屋に営業拠点を開設したことを発表しました。製造業の顧客獲得に積極的なインフォシスにとって、中部地方という日本最大の製造業拠点に位置する名古屋オフィスは日本事業における戦略的役割を担うことが期待されます。

今回の名古屋拠点開設にあたりインフォシス CEO の S.D.シブラルは以下の祝辞を寄せています。

「日本で事業を展開してから 15 年間、ビジネスは拡大し、現在は製造業、金融、消費財など様々な業界のお客様 40 社とお取引があります。今回、名古屋に拠点を開設したのは、日本事業の拡大戦略の一環であり、今後も日本の製造企業に的を絞って積極的に事業展開していく所存です。」

また、インフォシスリミテッド日本オフィス代表の V.スリラムは今後の名古屋地域における業務拡大について以下のように述べています。「日本のお客様とは東京を中心に過去 15 年間ビジネスを展開してまいりました。2 年前より名古屋、東海地方のお客様とのビジネスも徐々に増えてまいりましたとにより、そういったお客様のご要望にお応えするだけでなく新しいビジネスの機会を求めることとなりました。この地域のお客様からは国内のみならずグローバルのサプライチェーンサポートや、エンジニアリング分野でのサービスご提供といった機会が多大にあると認識しています。」

インフォシスは過去 15 年間日本で事業を展開し、日本国内の様々なお客様に対しての顧客プロジェクトに約 1000 人の従業員が従事しています。

インフォシスリミテッド 名古屋について

正式名称 : インフォシスリミテッド 名古屋
代表者氏名 : ニティン ダタール
所在地 : 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-24-16 広小路ガーデンアベニュー4 階
連絡先 : 052-856-9535
E-mail : Infy_nagoya@infosys.com

インフォシスについて

当社の 15 万人の社員は測定可能なビジネス・バリューを提供することで世界で活躍する多くの企業から信頼を得ています。当社はビジネス・コンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界 30 カ国以上のお客様に未来企業を目指すお手伝いをしています。<http://www.infosys.com/jp>

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客

の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2011 年会計年度(2012 年 3 月 31 日付)年次報告書(Form 20-F)や2011 年第 1 四半期(2011 年 4 月－6 月期)、2011 年第 2 四半期(2011 年 7 月－9 月期)、2011 年第 3 四半期(2011 年 10 月－12 月期)の各四半期報告書(Form 6-K)を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

報道関係問い合わせ窓口

インフォシスリミテッド マーケティング担当 安藤

電話: 03-5545-3251 E-mail: jo_ando@infosys.com